

観光振興及び産業振興を問う

答 事例等を収集し、調査研究していく



石垣 大志 議員

問 本町の観光振興及び産業振興について伺う。国道高架下空間の有効活用に関し、今後南風原バイパスや南部東道路等の新たな道路が増えてくる中で、高架下空間の有効活用は、新たな魅力を引き出す効果があると考えますが本町の見解を伺う。

副町長 南風原バイパス等の進捗状況を踏まえ検討していく。

問 南風原バイパス、南部東道路の桁下について公園以外の活用も検討はできるか。

まちづくり振興課長 占用の一定条件を満たすのであれば、

検討は出来る。南部東道路については、現在設計段階であり、既存の公園整備も踏まえ、検討する。

問 色々な選択肢を持って観光振興に取り組んでほしい。東京都の小金井市では、JR中央線の桁下を活用し、テナスを並べ、様々なテナントを募集し、飲食店やコンビニ、雑貨屋等、多様な商業地域をつくり出している。南部東道路や、南風原バイパスに関しても、テナントを設置し、町内の事業者のブースを設け、貸付けを行う事は可能か伺う。

まちづくり振興課長 本町の関

連する事業については国道と県で整備が進められている。これまでの占用条件としては、公共性とか公益性が伴うものに限ると聞いている。

道路空間のオープン化について問う

問 道路空間のオープン化への取り組みは、本町の観光振興にもつながると考えるが、見解を伺う。

まちづくり振興課長 道路空間のオープン化へ向けての取り組みとして、全国的に事例が多数ある。幹線道路の沿道等で飲食店が立ち並び、テラス

席やイベント広場等として活用され、にぎわいや住民の交流の場を含め、観光振興を目的として取り組みられている。事例等を収集し、調査研究をしていく。

問 道路の歩道空間に飲食店のテラス席があつて、それがずらっと並んでいる。そのようににぎわいのある町を作ってほしい。この道路空間のオープン化への取り組みを県道241号線に活用できるか。

まちづくり振興課長 県の管轄になるが道路管理者と協議し、取り組む。



高架下店舗リニューアル後の神戸市サンキタ通り